

大分県漁業学校 開講式

令和8年度の大分県漁業学校の開講式が、5月19日、水産会館にて開催された。
 漁業学校は、漁業者の減少、高齢化が進む中、大分県の漁業が持続的に発展するため意欲ある新規就業者を確保することを目的に平成27年度から始まった制度で、これまでに37名が修了している。今年度は6名が応募した。
 開講式では、初めに中根組合長が「この一年間、漁労実習などしっかりと技術を習得し、日々努力することで一日も早く独り立ちできるよう、そして地域漁業を支える人材になることを切に願っている」とあいさつ。
 次に、研修生を代表し、佐伯支店の山下飛竜さんが「30年間、鳶の仕事をしてきたが、海の優しさ、厳しさを知りたいと思い入校した。うまいかない日もあると思うが精進し、来年春には皆で修了証をもらえるよう頑張る」と決意を表明した。

開講式終了後は、「開講ガイダンス」「水産学概論」の講座があった。



氏名	漁業種類	所属支店
江本一心	小型定置網 たこつぼ	国見
中山 滯	小型底びき網	安岐
清水楓河	刺し網漁	大分
山下飛竜	小型底びき網	佐伯
高畠大秀	魚類養殖 定置網	下入津
神崎航大	魚類養殖	下入津



福岡県漁協青壮年部が 佐賀関支店に寄付金を贈呈

5月15日、福岡県漁協青壮年部の会長、部員が、佐賀関支店を訪れ、昨年発生した大規模火災の寄付金を須川直樹委員長に手渡した。
 当日訪問したのは上野慎一郎会長、藤島賢太副会長など5名で、これまで青年部活動を通じて須川委員長と交流があり、今回実現したもの。
 本県からは、山田和幸青年部長、堀靖昭副部長など計8名が出席した。
 寄付金贈呈後、佐藤支店長から今回の被災状況を説明、みな熱心に話を聞いていた。
 最後に記念撮影をし、佐賀関の早期復興と両青年部の活躍を祈念し、散会した。
 遠いところ、お越しいたいただき、ありがとうございます。



JF大分

水産おおいた

2026年
6月

190号

発行元
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>



ブランドおおいた輸出促進協議会 水産部会が開催

5月11日、水産会館において令和8年度の水産部会の総会が開催された。
 7年度の実績報告では、会員等が販促やPR活動を積極的に行った結果、水産物の輸出額は22.1億円でR6よりも2億円(10%)増加した。また養殖ブリについては、在池量が少なく単価が高かったものの韓国の活魚需要が旺盛であったことや米国や台湾での販路拡大により、前年度から3.8億円増加し、17.9億円となった。
 漁協としては、韓国、米国での養殖ブリの商談に参加し、その他会員がインターナショナルシーフードショーへの出展や台湾での商談(カキ)やマレーシアの九州フェア(養殖ブリ)に参加した。
 今年度は22.4億円の輸出額を目指し、養殖ブリについては韓国での商談や米国、台湾での展示会出展など販売促進に取り組む予定。養殖マガキについては台湾やドバイなどで生鮮や冷凍品の販路拡大に取り組む。
 また大分県プロモーションとしては、11月に米国、1月に台湾を予定している。

6月1日付け 人事異動 経営改革室を設置

6月1日付けの人事異動を発表。
 今回は、総務部経営管理課を廃止し、新たに経営改革室を設置した。ここでは今後、組合員の減少や高齢化、漁協職員の不足等を見据え、支店及び取次店の店舗統廃合・事務統合の協議・検討を進めるなど、漁協の経営改善や業務の効率化を実現する。
 室長には小西総務部長が、総務部長に長野漁政課長が就任した。

また、経営改革室には農林中央金庫から坂田晃一氏と内山晴貴氏の2名が派遣され、来年3月まで常駐の予定で業務遂行に助力いただく。さらに、不定期ではあるが全漁連からも職員を派遣していただくことになった。このように関係機関がしっかりと連携して、本漁協の経営改革に取り組んでいく。

1日の辞令交付式では、中根組合長が「大変な時期であり、苦勞すると思うが、自分の力を信じ、頑張してほしい」と訓示した。



人事異動一覧(令和8年6月1日付)		
新	旧	氏名
総務部長兼漁政課長	総務部漁政課長	長野定勝
経営改革室室長	総務部長	小西英俊
総務部漁政課課長役別府・大分支店長	別府・大分支店長	廣戸 聡
総務部総務課係長兼経営改革室係長	総務部経営管理課係長	植木千絵
総務部総務課(臨時)	総務部経営管理課(臨時)	野田直美
総務部総務課(臨時)	総務部経営管理課(臨時)	吉富真理

コンプライアンス研修

5月29日、役員及び職員を対象に、コンプライアンス研修を行った。大分県人権教育・啓発推進協議会人権啓発講師の西村慶治氏を講師に、「企業倫理とハラスメント防止」というテーマであった。
 企業の事業を継続するためにはコンプライアンス(法令順守)が必須であること、ハラスメントは誰に対してもしてはいけない行為であり、その具体的事例などが説明され、参加者は安心して働ける職場づくりについて理解を深めた。



長洲「浜の市」・酒蔵祭り2026

5月31日、宇佐市の長洲漁港において「浜の市」が開催された。多くの来場者が9時の販売前から列を作り、様々な魚介類を買い求めた。今回は「宇佐酒蔵まつり」も同時に開催、焼酎や日本酒の角打ちや酒類の販売もあった。
 また小学生以下を対象とした「イカのつかみ取り」や「浜焼き」などもあり、大いににぎわった。



理事会を開催(第1回、第2回、第3回)

審議の結果等は以下のとおり。

第1回(4月30日)

【議案】

- ・第1号議案 組合員の異動について →計6名の組合員の異動(新規加入)が承認された。
- ・第2号議案 令和8年度・コンプライアンスプログラムの策定について →支店が取次店になったことなどによる変更が承認された。
- ・第3号議案 令和8年3月末減損会計計上について →豊後高田取次店等8グループの固定資産の減損処理について承認された。
- ・第4号議案 令和8年3月末資産自己査定及び資産自己査定に基づく貸倒引当金計上について →R7は貸倒引当金総額が544百万円(前年度から12百万円の減)となったことを報告、承認された。
- ・第5号議案 第24事業年度(令和7年度)決算概要について →現時点で事業総利益-事業管理費=213百万円の赤字、その他加工センター等の実績を報告し、承認された。
- 第6号議案 令和7年度常例検査改善状況報告書の提出について →検査の指摘事項等を説明、承認された。
- 第7号議案 令和8年度・補助事業の取扱いについて →漁業経営構造改善事業などの計画を説明、承認された。
- 第8号議案 令和8年度・内部検査実施計画について →16の信用事業実施店舗の検査などについて承認された。
- 第9号議案 経営改革室の新設及び各種規程の変更について →6月1日付けで経営改革室を設置、それに伴う規程の変更について承認された。

【協議・報告事項】

- ① 余裕金の運用状況報告について →3月末で農林中央金庫等に18,480百万円の預け金
- ② 令和7年度下半期内部検査実施報告について →昨年度実施した検査での指摘事項等を報告

第2回(5月14日)

【議案】

- ・第1号議案 組合員の異動について →計4名の組合員の異動(新規加入)が承認された。
- ・第2号議案 令和8年度・余裕金の運用方針及び運用方法について →当組合のR8余裕金の運用は余裕金運用規程に則り運用し、運用限度額を3,680百万円とすることなどが承認された。
- ・第3号議案 第24事業年度(令和7年度)・事業報告及び附属明細書について →事業報告等の内容について説明し、承認された。

【協議・報告事項】

- ① 余裕金の運用状況報告について →4月末で農林中央金庫等に18,653百万円の預け金
- ② 大口貸出先に対する今後の対応について →今後の対応について報告

第3回(5月29日)【議案】

第3回(5月29日)【議案】

- ・第1号議案 組合員の異動について →計13名の組合員の異動(新規加入、支店間異動、譲渡加入)が承認された。
- ・第2号議案 手形・小切手の紙発行対応廃止にかかる手数料の改定について →金融庁の方針により、紙の手形・小切手の受付業務等を廃止、関連する手数料を削除することが承認された。
- ・第3号議案 令和8年度・同一人に対する信用供与限度額の設定について →組合員に対する信用の供与等の最高限度額を6億円とすることなどが承認された。
- ・第4号議案 第24事業年度(令和7年度)事業報告及び損失金処分案の承認について →別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第5号議案 第25事業年度(令和8年度)事業計画の設定について →別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第6号議案 第25事業年度(令和8年度)における理事、監事の報酬額の決定について →別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第7号議案 第25事業年度(令和8年度)の賦課金、行送料とその徴収方法・時期の決定について →別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第8号議案 第25事業年度(令和8年度)における借入金の最高限度額の決定について→別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第9号議案 区画漁業権の得喪及び変更並びに行使規則の制定(認可申請)について→別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第10号議案 総会の部会の設置について →別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第11号議案 会計監査人の選任について →監査人 北三会計社を選任することについて承認された。
- ・第12号議案 令和8年度・通常総会の招集(開催日時・開催場所)・附議事項について →別冊「事業報告書案」のとおり承認された。
- ・第13号議案 運営委員辞任届の受理について(佐伯支店) →1名から届出があり、受理することが承認された(補欠選挙なし)
- ・第14号議案 土地の売却について(大分支店) →大分支店家の土地を売却することが承認された。
- ・第15号議案 漁業生産力の発展に関する計画の点検表の提出について →県に点検表を提出することが承認された。

【協議・報告事項】

- ① 第24事業年度(令和7年度)貸借対照表・損益計算書及び注記表について →別冊「事業報告書案」のとおり報告
- ② 令和8年度・決算監査報告書について →5月11日付けで代表監事から組合長あてに提出された
- ③ 管理職定年の延長について →5月22日付けで漁協職員組合執行委員長から「管理職定年年齢見直しに関する意見書」が提出された。その時点で、職員組合としては現状のままで良いとの意見であった。

県が6月補正予算案を公表

県は6月2日、8年度一般会計補正予算案を公表した。水産関係事業は以下のとおり。

今後、6月11日開会予定の第2回定例会で上程される。

- ・農林水産業燃油・物価高騰対策緊急支援事業(農林水産企画課)
燃油高騰の影響を受けている農林水産業者の経営安定のため省エネ設備等の導入等を支援する(要望額:780,623千円)
- ・県産食材県内消費拡大緊急対策事業(おおいブランド推進課)
県産食材の認知度向上、消費拡大のため、学校給食の食材購入経費を助成するとともに出前講座等を実施(要望額:177,000千円)



近ほな頑今なり5
いば職どき張後、月6は
(満ゲ場各てり、月6は
大)開ン近地、ま初月G
でびくで6す。め号W、
。ありの梅月、にの会
る。アビ雨に、にの議
。がル入り、で発行や
本咲でり、で、行が
格いは九州、で、や
的て一九州、き遅出
ない面州南、る、張
夏のに、部よ、が
も。も。う、重

編集後記